

【授業科目】 地域政策論 Regional Policy Theory

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
吉川 和扶	4年次前期	選択	1	15	講義	あり		可
授業概要 (内容と進め方)及び課題に対するフィードバック方法	<p>いくつかの政策領域を事例として用いつつ、地域における政策問題解決のプロセスに関する知識を身に付けることを目的とします。</p> <p>政策問題の解決は登場するアクターも、関連制度・法律なども多岐にわたり、一律の解決方法があるわけではありません。</p> <p>本講義では、実際のケースを取り上げつつ、各ケースの中でどのような問題が生じたのか、どのように解決されたのかを扱います。</p> <p>この講義を通して、身近な問題への関心と感度が高まり、問題解決への糸口を見つけ出すための考え方を身に付けることを期待します。</p> <p>課題に対するフィードバック方法：講義後半にコメントシートを配布、次回以降の講義開始時にフィードバックを行います。</p>							
授業の位置づけ	<p>本学のディプロマ・ポリシー⑤「将来に向け看護を主体的に学び、看護の専門職としてのキャリアを伸ばせる能力を持つことができる」の達成に寄与している。</p>							
到達目標 (履修者が到達すべき目標)	<p>① 地方自治体や国の地域政策に関心を持つ。</p> <p>② 今後の地域政策のあり方について自分の意見を述べるができる。</p> <p>③ 地域の課題の把握方法を修得し、解決法を提示することができる。</p>							
時間外学習に必要な内容・時間	<p>自分の住んでいる地方自治体の政策を、新聞やインターネット、書籍等で調べる。 国、他の地方自治体の政策に注目し、情報収集し比較してみる。 (30時間)</p> <p>※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間(2単位15回科目の場合：予習+復習4時間/1回)(1単位15回科目の場合：予習+復習1時間/1回)(1単位8回科目の場合：予習+復習4時間/1回)を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。</p>							
授業計画	<p>第1回 ガイダンス/政策とは何か</p> <p>第2回 事例1：環境政策</p> <p>第3回 事例2：防災政策</p> <p>第4回 事例3：消防政策</p> <p>第5回 事例4：町並み保存政策</p> <p>第6回 事例5：空き家政策</p> <p>第7回 理論1：政策と手段</p> <p>第8回 理論2：政策と価値</p>							全て吉川
評価方法 評価基準	<p>講義ごとの感想 計50点、 総括レポート提出 計50点</p>							
教科書	なし。				参考書等	<p>・佐野 亘 (監修)、山谷清志 (監修)、焦従勉 (編集)、藤井誠一郎(編集)「政策と地域」ミネルヴァ書房 (2020)</p> <p>・石橋章市朗、佐野亘、土山希美枝、南島和久 著「公共政策学」ミネルヴァ書房 (2018)</p>		
学生への助言等	<p>他受講生の学習を阻害する行為は原則禁止とし、退室を命じることがあります。</p>							